

山口の鑄銭司第二団地に初の進出

## 三光HD傘下3社が事業所

電子部品の卸売りなどの企業を傘下に持つ三光ホールディングス(HD)、広島市西区)が、山口市鑄銭司の産業団地「鑄銭司第二団地」に子会社3社の事業所を設ける。同市が1月に分譲を始めた同団地への初の企業進出となる。

土地取得、平屋の施設



建設などで約3億4700万円を投じる。製造業向けに電子部品や機械などを販売する三光電業(西区)の山口営業所(宇部市)と抵抗器製造の昭和抵抗器の本社(防府市)を移し、制御盤などの製作を手がける三光電子製作所(西区)の山口工場を置く計画。2024年5月に着工し、25年3月から操業予定。

山陽自動車道山口南インターチェンジ(IC)に近いアクセスの良さなどから進出を決めた。同団地に集める3事業所の26年7月期の売上高を計約4億4千万円と見込む。

15日に山口市役所で進出協定の調印式があり、伊藤和貴市長は「市が目指す、ずっと元気な山口の実現に向けた原動力になる」と歓迎。三光HDの森脇喜美代社長は「山口県、山口市に少しでも寄与したい」と話した。



協定を交わした森脇社長(右)や

伊藤市長(左)たち

(藤田龍治)